

## マーケットの動き (2021年5月24日～5月28日)

先週の国内債券市場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。

週の前半は、米国長期金利の落ち着いた動向を受けて金利が低下したものの、週の後半は、米国雇用関連指標の改善や、米国国債の増発観測を受けた米国長期金利の上昇により国内債券にも売りが波及し、前週末と同水準まで戻しました。

クレジット市場は、引き続き投資家の買い需要、利回り確保ニーズは強く、堅調な展開が続きしました。

## 投資環境見通し (2021年5月)

## 長期金利は低位で安定

国内長期金利は、世界景気の回復を受けて上昇圧力を受けるとみられますが、日銀が緩和的な金融政策を維持する姿勢を示す中、緩慢な内需回復による低インフレの環境下で、低位で安定した推移を続けるとみています。

	5月28日	変動幅 (騰落率)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り (日本、%) (変動幅)	0.08	0.00	▲0.01	0.05	0.09
NOMURA-BPI総合 (騰落率)	386.49	0.00%	0.02%	▲0.16%	▲0.53%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

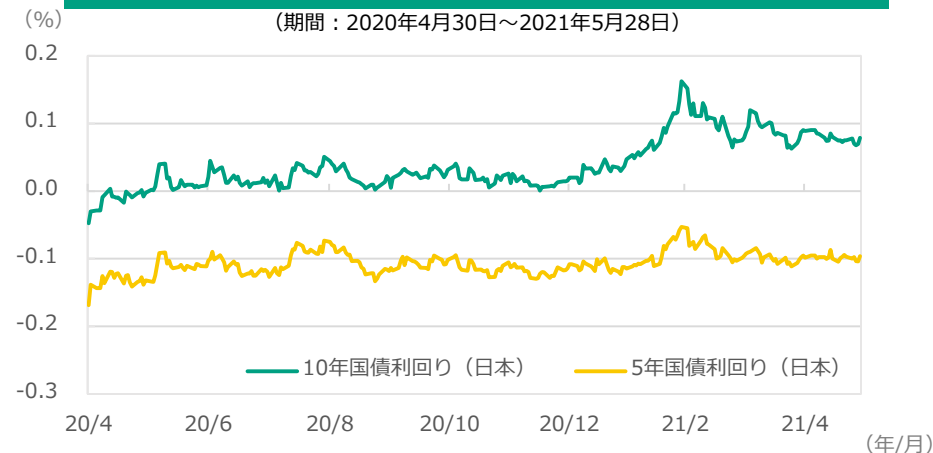
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202105\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202105_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなされるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日本国債利回りの推移

(期間：2020年4月30日～2021年5月28日)



## 野村BPI総合指数の推移

(期間：2020年4月30日～2021年5月28日)

